

【予告】令和4年度入学者選抜より、美術学部デザイン・工芸科陶磁専攻において総合型選抜を実施します。

1 趣旨

彫刻、デザイン、陶磁、メディア映像分野が多様化する中、様々な可能性のある学生を従来の一般選抜による選抜だけでなく、総合型選抜という方法によって優秀で意欲的な人材の発掘を目的に実施します。

その人物像は以下のとおりです。

- 自己の表現能力に優れ、実技の基礎能力がある人。
- 自ら学び、自ら考え、より良く問題を解決しようとするチャレンジ精神の旺盛な人。
- 創造力、探究心、発想力が豊かで行動力のある人。
- 本学への強い入学希望を持ち、合格した場合、入学を確約できる人。

2 アドミッションポリシー

(1) 求める人物像

- ・暮らしに関わる工芸やデザインに関心があり、想像力豊かな人
- ・陶磁分野の可能性を探求し、創作意欲のある人

(2) 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力
- ・基礎的な色彩による表現力
- ・基礎的な造形力

(3) 入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が意欲を持って受験しやすい環境を整えるとともに、基礎的な観察力と表現力を問う入学試験を実施します。

【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査と、実技試験（立体）、面接試験により合否を判定します。

2 募集人員

美術学部デザイン・工芸科陶磁専攻 若干名

(陶磁専攻入学定員 10 名の中に含まれます。)

3 出願資格

総合型選抜 美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻と同様。

4 選抜方法及び点数配分

2段階選考を行います。

(1) 第1次選考試験

出願時に提出された自己アピール資料による能力判定及び書類審査により選考。

試験の種別	自己アピール資料審査
内容	自己アピール資料の審査を行う。 提出資料の内容 (活動記録・作品) これまでの自主的な活動記録や自己制作作品を自由にまとめてください。 サイズ：A3 提出方法：20枚以内にまとめ、ファイリングすること。 ※提出資料は返却しません。
評価基準	実技の基礎能力や資質、創造力、探求心、発想力を総合的に判断する。
配点	1,000点

(2) 第2次選考試験

第1次選考合格者に対して、実技試験（立体）、面接により選考。

試験の種別	実技試験（立体）
時間	4時間
内容	粘土による立体制作を行う。
評価基準	立体造形制作への意欲と資質をみる。 基礎的なデッサン力、表現力、空間認知力をみる。
配点	500点

試験の種別	面接
時間	①1人7分程度 ②1人5分程度
内容	①・・・自己アピール資料に基づく口頭発表。 ②・・・実技試験（立体）、志願理由に関する試問。
評価基準	人物の志向性や陶磁表現への探求心、コミュニケーション能力をみる。
配点	500点

(3) 点数配分

第1次選考試験		第2次選考試験		
出願書類審査	計	実技（立体）	面接	計
1,000点	1,000点	500点	500点	1,000点